

# 吉水 公子

YOSHIMIZU  
KIMIKO

## 中川会長の 言葉を胸に 難病患者の 笑顔のために



2001年1月エージェント登録。  
エージェント活動の傍ら、  
東洋医学と西洋医学を融合した難病患者のための  
治療院「健康畑せたがや」を開院。  
中川会長は同治療院の会員第一号である。

### 中川会長と 交わしたあの日の 約束をついに実現

「人生の最後をここで過ごしたい」  
東京世田谷に、難病に苦しむ患者  
たちの駆け込み寺となっている治療  
院がある。吉水公子さんの経営する  
「健康畑せたがや」である。

医師の妻である吉水さんが同治療  
院の設立を思い立ったのは、「ガンの  
息子を助けてください」と必死で夫  
に訴がる末期ガン患者の家族の姿に  
接したのがきっかけだった。難病に  
効くと言われる治療法は数多く耳に  
するが、医師に許されているのは厚

生省から認可された処方のみである。  
それらの治療の効果が得られない場  
合には、残念ながら医師であっても  
それ以上手を施すことができないの  
が現状である。

「しかし、当の患者さんやご家族は、  
そのことに納得していません。『なに  
かほかの良い治療法があるはずだ』  
必死でもがく患者さんのための治療  
院を作りたい。そう思い立ったので  
す」

しかし、聞いたこともない吉水さ  
んの「人間本来のもつ免疫力を取り  
戻す免疫強化療法を目指したい」と  
するアイデアに、医師である夫や息

子はむろん猛反対。吉水さん自身も  
最後の一步が踏み出せず、「暗中模索  
の日々が続いていました」  
そんな時に出会ったのが、EXA  
だ。

「知り合いの紹介で知ったのですが、  
掛金が手頃で、保障が手厚いのが魅  
力でした。しかもエージェント活動  
が、人々の経済的な不安の解消につ  
ながるすごいシステムだと感動しま  
した。さらに、登録後EXAを紹介  
した知人からも、『手厚い保障がもら  
えた』と喜びや感謝の声が続出し、  
あらためてEXAのすばらしさを実  
感しました」

医療の発達した現代では、  
さまざまなお薬や治療法が発見され、  
いまや治せない病気などないよう  
に見える。しかし、実際はガン、  
アトピー、膠原病等々。治療困難な  
難病が目白押しなのが悲しい現実だ。  
「現代の保険医療の枠では  
手の施しようがないとされた  
患者さんでも、なんとか  
救ってあげたい」そんな現実  
に立ち上がった女性がいた。

しかし、なんと言っても吉水さん  
の運命を大きく変えたのは、ある日



オープニング・パーティには、  
多忙をぬって中川会長も駆け  
つけてくれた。

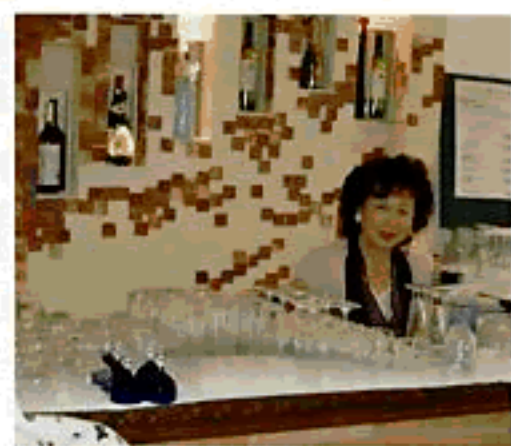


緑の中庭を望む治療院のロビーには、中川会長の写真が飾られている。



「健康畑せたがや」には病院にありがちな暗いイメージはひとつかけらもない。

訪れた中川会長(当時社長)の講演会だった。  
 「会長の話される言葉の端々から、「人のために」という熱い思いが伝わってきて、胸が震えました」とその時を回想する吉水さん。その後、感動のあまり自ら本社に会長を訪れ、積もった思いをぶつけるように、会長の前でこう宣言したという。  
 「会長が日本全体を良い方向に変えたいとおっしゃっているわけですから、わたくしは微力ながら、まだまだ低いとされる東洋医学や予防医学の評価を少しでも高めてゆくよう、



院内のレストランはまるで高級ホテル。味の方も折り紙付きだ。

さらに努力してゆきたいと思えます。もし治療院を設立できたら、第一号の会員になっていただけますか」食い入るように見つめる吉水さんに中川会長は「よし。なろう、がんばりなさい！」と一言。  
 「そのお言葉を励みに、設立までの幾多の障害を乗り越えることができました」と眼差しを熱くする吉水さん。当初反対していたご主人も、その吉水さんの深い思いと情熱に強く心を動かされ、ついに2004年10月、他に類を見ない総合治療施設「健康畑せたがや」が開院を見たのである。  
 「とうとう開院に漕ぎ付けました」勇んで報告する吉水さんだったが、当時の中川会長は多忙に多忙を重ねた時期。しかし、「どんなに忙しかろうと約束は守る」と、オープニングパーティでは自らスピーチの先頭に立ち、「約束どおり第一号会員にさせていただきます。会場の方々もわ

たしに続けてください」と拍手を送ってくれたという。  
 「嬉しさと、目頭が熱くなる思いでした」

## 高級ホテルを思わせる 明るい院内

今ではご主人や息子さんも協力し、免疫強化療法を駆使した治療で高い評価を得ているという「健康畑せたがや」。「昨年、ある大病院では手の施しようがないとされて、ファイナルケアで訪れた患者さんがいらつしゃいました。しかし、当院での治療とご本人の根強い努力により、いまでは随分元気になられ回復へと向かっておられます」と、吉水さんも嬉しそうに微笑む。

「健康畑せたがや」では、開院以来すでに患者は2000人を突破したとのこと。その中には、今の例のように、飛躍的に回復へと向かわれた方が数多くおられるという。

同治療院では、東洋医学と西洋医学を交えたさまざまな治療法を、患者に合わせたオーダーメイドで施すことで、人間の本来持っている免疫力を強くすることを目指している。とくに体内をきれいにすることは、免疫力を高めるために重要だと考え、腸内洗浄を始め、レーザー光線、ラドンサウナなど、毒素排除によいと



「約束どおり第一号会員にさせていただきます」と自ら挨拶に立つ中川会長。

されるさまざまな方法を駆使して、体内の毒素を体外に洗い流す努力をしている。

ちなみに、この「健康畑せたがや」を訪れてみると、明るい院内はまるで欧州の高級ホテルさながらで、従来の病院にありがちな陰気なイメージはひとつかけらもない。

「嬉しそうに笑う患者さんたちの顔を見る度に、この施設を始めてよかったと思います。その決断を促してくださった中川会長に深く感謝させていただくと同時に、EXAの商品で経済的な支援ができ、患者さん方にはこの施設で元気になってもらう。私にとってはこの2つは最高の生きがいです」と微笑む吉水さん。患者たちを見つめるその眼差しは、優しい母のそれであった。